

今日のトピック 原油価格の動向

OPECが8年ぶりに減産で合意

ポイント1 OPECが生産量を制限へ 減産合意は2008年以来8年ぶり

- 2016年11月30日、OPEC（石油輸出国機構）はウィーンで開催されていた総会で、17年1月1日以降の原油生産量を日量3,250万バレルに制限することで合意しました。
- 9月末のアルジェリア臨時総会で合意した同3,250万バレル～3,300万バレルの下限にあたります。合意は、ロシアなどOPEC非加盟の産油国にも、合計同60万バレル程度の減産を求めています。

ポイント2 サウジアラビアが政策転換へ シェア維持から価格安定へ

- OPEC月報によれば、10月のOPEC原油生産量は日量3,364万バレルです。従って、今回の合意が実行されれば、加盟国全体で同110万バレル強の減産となります。
- OPECの今回の合意成立の背景には、サウジアラビアの石油政策の転換があると考えられます。つまり価格下落による原油収入の落ち込み、財政収支の悪化を食い止めるため、これまでの生産シェア維持から価格の安定へと戦略転換したと見られます。

今後の展開 2017年には需給均衡へ、価格も当面、底堅く推移する見通し

- 国際エネルギー機関（IEA）は、17年の世界の原油需要を前年比1.2%増の日量9,750万バレル、非OPEC諸国の供給を同0.9%増の同5,720万バレルと予想しています。天然ガス液の供給も考慮すると、OPECが今回合意した生産枠を遵守すれば、17年の原油需給は均衡に向かう見込みです。
- OPECの減産合意を受けて、11月30日のWTI原油価格は前日比9.3%の大幅上昇となりました。原油価格が持ち直せば、米国のシェール生産が拡大する可能性もありますが、当面のところは協調減産成立を受けた需給改善期待から原油価格は底堅く推移すると予想されます。

【今回の合意による主要産油国の生産枠】(単位: 万バレル/日)

| OPEC加盟国 | 生産量の上限 | 生産実績 | 削減量 |
|---------------|--------------|--------------|-------------|
| | | | |
| サウジアラビア | 1,006 | 1,053 | ▲47 |
| イラク | 435 | 456 | ▲21 |
| イラン | 380 | 369 | 11 |
| UAE | 287 | 301 | ▲14 |
| クウェート | 271 | 284 | ▲13 |
| OPEC総計 | 3,250 | 3,364 | ▲114 |

(注1) OPEC加盟国14カ国のうち生産量上位5カ国。OPEC総計にはその他加盟国も含まれる。単位は万バレル/日。

(注2) 生産実績は2016年10月の値。削減量は10月実績対比。

(注3) 四捨五入の関係で、生産量上限と同実績の差が削減量と一致しない場合があります。

(出所) OPEC「OPEC Monthly Oil Market Report」2016年11月号、OPECプレスリリースを基に三井住友アセットマネジメント作成

【原油価格と北米のリグカウント】



(注) データ期間は2011年4月22日～2016年11月25日。週次のデータ。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2016年11月17日 石油「リグ」稼働状況と原油価格（グローバル）

2016年11月16日 資源価格の動向 原油価格は軟調だが、非鉄金属の価格が上昇

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。